

第2次白鷹町健康増進計画 **元気ニコニコしらたか21**

GENKINIKONIKOSHIRATAKA 21

今回は、計画に基づいて実施している「元気いっぱい子どもの健康づくり」の重点事業についてお知らせいたします。


**食育事業
の充実**

1. 各地区「げんき弁当子ども料理教室」の開催

町では、地産地消の手作り弁当の良さを見直してもらおうと平成17年度から「げんき弁当コンクール」と親子料理教室を開催してきました。この間、町内では子どもが自分で作る「おにぎりデー」「弁当の日」が小学校3カ所で始まるなど、食育に対する意識は確実に高まってきました。その成果を受けて、これまでの事業を10回目となる開催を機に見直した結果、より実践的な事業に取り組む時期ではないかということになりました。

今年度から、小学校での「おにぎりデー」「弁当の日」の後押しとなるよう、各地区で健康づくり推進員、放課後子ども教室、学童、コミュニティセンターと力を合わせて「げんき弁当子ども料理教室」を開催しています。

これは、子どもたちが自分で作ったお弁当を家に持ち帰り、家族の方と一緒に食べるというものです。地元の旬の食材を使うことで本当のおいしさを知り、自然の恵みに感謝できる人になること。自分のためのお弁当を作り、その大変さを知ること。日々自分のために料理をしてくれる家族に感謝できる人になること。また、がんばってお弁当を作ったことを家族の皆さんに認めていただくことで、自分が大切に思われていることを実感し、自他の命を大切にできる人になること。このようなことを目指して始めました。

このように、町の未来を担う大切な子どもたちの『こころ』と『からだ』を育む食育への取り組みを、地域が一体となって進めていければと考えています。今後とも皆様のより一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



▲全校児童の約1/3が参加した、大盛況の蚕桑地区。暑い中で、みんながんばりました！



今後の開催予定は、鮎貝地区と十王地区で12月、「おにぎらず」の弁当です。学校を通してご案内いたしますので、どうぞご参加ください。

2. 食育講演会「(仮) 子どもが育つ料理の力」の開催

▶ **11月7日(土)**
午後1時30分～3時

11月7日に健康福祉センターで開催される「元気ニコニコ健康まつり」の中で、白鷹町出身子ども料理研究家の鈴木真由美氏による食育講演会を開催します。先生は現在、山形新聞のアートフロンティアにも記事を書かれています。「おにぎりデー」や「弁当の日」で何が育つのか、なぜ今、子ども料理教室なのかをわかりやすくお話しいたします。お誘いあわせのうえ、ご参加ください。

■問い合わせ 健康福祉課健康推進係 ☎ 86 - 0210